

2026年5月26日

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン、Sanctuary AI へ投資および技術交流開始

～人間の手に近い機能を実現する産業用ロボットハンド向けエラストマー部材の開発に向けた技術交流開始～

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:豊嶋 哲也 以下、ゼオン)は、この度CVCを運営する子会社 Zeon Ventures Inc.(米国カリフォルニア州、代表者:高橋 和弘)を通じて、カナダの高度ロボティクス企業 Sanctuary AI へ投資し、技術交流を開始しました。本交流を起点とし、ロボティクス分野における新素材開発を加速させていきます。

Sanctuary AI は、汎用ヒューマノイドロボットを開発し、多様な産業分野での導入に向けた実証を進めています。高精度触覚センシングと小型油圧アクチュエータによる操作能力と、同社のフィジカル AI を組み合わせた独自のシステムは、次世代の産業オートメーションを支える基盤として世界的に注目されています。

こうした人間の手に近い機能を実現する産業用ロボットハンドの実用化には、触覚レベルの精密さと産業用途に求められる耐久性を両立する材料が不可欠です。ゼオングループは、エラストマー材料技術と試験・評価能力を活用し、Sanctuary AI の製品開発を支援してまいります。これにより、ロボティクス分野における新たな素材需要の獲得と、将来の事業ポートフォリオ強化を図ります。

ゼオンは、中期経営計画 STAGE30 において「モビリティ」「医療・ライフサイエンス」「情報通信」「GX」を成長4分野と定め、リソースを集中投入することで、同分野における売上高比率を2028年度に48%に引き上げることを掲げています。今後ともスタートアップへの投資・支援や、あらゆる産業・分野に変革をもたらす新素材の提供と用途開発により、「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献してまいります。

ZEON



SANCTUARY AI

【Sanctuary 社の概要】

社名 : Sanctuary Cognitive Systems Corporation <https://www.sanctuary.ai>
事業内容 : ロボティクスシステムおよびソフトウェア
代表者 : James Wells

【Zeon Ventures 概要】

社名 : Zeon Ventures Inc. <https://www.zeon.ventures/>
事業内容 : スタートアップ企業への投資活動等
代表者 : 高橋 和弘
住所 : 25 Metro Drive, Suite 238, San Jose, California 95110
投資規模 : 50 百万米ドル

以上

本件に関するお問い合わせ先:日本ゼオン株式会社 経営企画統括部門 広報室
電話:03-3216-2747 お問い合わせフォームは[こちら](#)